

# 会計・決算業務の標準化による事務処理の省力化を図る 会計情報システム

手作業で行っている台帳補正や伝票起票をシステム化することにより、会計処理の効率化、決算業務の早期化を図るとともに、事務リスクや業務ノウハウの属人化といった信用金庫が抱えている問題を解決します。

## システムの特長

### 決算支援システム

各部署からの仕訳補正データおよびしんきん共同センターからの日計データを集計し、決算速報や当局報告資料を作成するとともに、しんきん共同センターホストに対する決算補正データ(リエンタデータ)も作成します。

### 有価証券管理システム

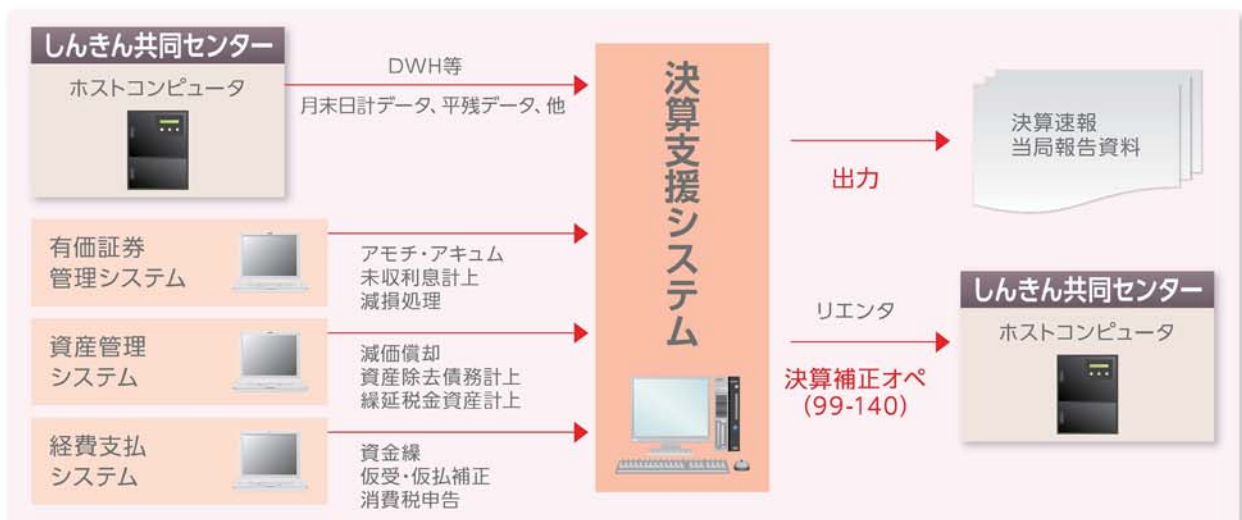
外部連携により有価証券の時価データ等を取得するとともに、取引履歴や償還予定を管理し、報告・開示資料の作成や決算処理(時価評価計算・減損処理)を行います。

### 資産管理システム(減価償却システム)

金庫が保有する固定資産の取得から処分までの管理を行い、各種申告書を効率的に作成します。また、償却情報は会計・税務・国際会計基準(IFRS)等、多角的な管理が可能となります。

### 経費支払システム

請求書到着から支払までの期日管理を行うとともに、振込データ(リエンタデータ)を自動作成し、支払業務の効率化を図ります。また、費目別、業務別等の多様な切り口で経費の分析が可能となります。



〈運用事例〉 従来どおりの管理を残し、本システムを一部導入することも可能です。

